

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

審議 会 回	章	原 案 頁	表題等	発 言 者	意 見	原案修正方針
1	2	10	1.2施設の状況	委員	「本市は地下水および県水を水源としており」と書いてあるが、割合からしても逆の方がいいのではないか。	P 10本文及び「表2-3」における表記を「県水」→「地下水」の順番に変更しました。
1	2	15	1.4組織の状況	委員	水道の職員数は10年間で1割近く減少していますという表現について、表を見ると、1割を超えてるので％で表し、「約13％」とした方がいいのでは。	水道に関する標記＝P 15の本文を修正しました。 →「10年間で約13％減少しています」 下水道に関する標記＝P 35の本文を修正しました。 →「10年間で約11％減少しています」
1	2	11	1.2施設の状況	委員	図2－2の布設状況を見ると、単純にこのペースで更新を繰り返したら、また同じピークが来るので平準化が経営上必要である。一方で分析のページには、法定耐用年数を経過した管路が川越はもう30％ありますと記載されている。川越市の老朽化率が他団体より高い状況だということを伝えるための説明が必要ではないか。	P 11法定耐用年数の表を追加しました。 →「表2-4」 P 23経営委比較析表の管路経年化率の評価の記載を変更しました。 →「類似団体より2％程度高い水準にあります」 P 26事業の課題に老朽化に関する記述を追加しました。 →「類似団体平均よりも高く、5年前と比べて7％近く上昇しています。」「管種別に設定した本市独自の更新基準年…」「投資の実現可能性についても考慮したうえで、老朽化率の上昇を可能な限り抑えた投資・財政計画を作成する必要があります」
1	2	24	1.6経営比較分析表を活用した現状分析	委員	1「管路更新率」の指標は、類似団体を上回ってるが、50年ということを考えたら本来2％を更新する必要がある。「100年で更新するとしたら1％が目安ですよ」という説明だと、川越市の管路は100年もつのですかという誤解に繋がるのではないか。	誤解を与える表現を避ける為、P 24の指標⑩の説明を変更しました。 →「法定耐用年数である40年で更新する場合、年2.5％の更新率にする必要がある」
1	2	23	1.6経営比較分析表を活用した現状分析	委員	⑨番の指標は、今後更新率を上げていかない限り、経年化率っていうのは、ずっと上がっていくしかないんですよね。おそらく、そしてこの5年間で5％上がってます。というグラフだと思われる。これからの10年間を考えていく中で課題は明確に明示した方がいいのではないか。	水道＝P 26に老朽化の抑制に関する記述を追記しました。 →NO.3と同様 下水道＝P 46に老朽化の抑制に関する記述を追記しました。 →「技術者不足による入札の不調など、計画的に施設の更新を進めていくことが困難な状況もあるため、実現可能性について考慮しつつ、老朽化率の上昇を少しでも抑制できるような…」 上記のほか、第5章において法定耐用年数と市独自の耐用年数の違いについて表記し、老朽化率、投資額の抑制等に関する課題を改めて記載します。 →P59「…管路の法定耐用年数は40年と定められておりますが、…本市では…35年、…80年など、種類ごとに設定しています。

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

	審 議 会 回	章	原 案 頁	表題等	発 言 者	意 見	原案修正方針
6	1	2	36	2.5これまでの主な経営健全化の取組	委員	都道府県構想の中で、下水道と浄化槽を含めた埼玉県として汚水処理100%を目指すという中で川越市として、5年前と違う状況なのだとすれば、今後下水道の延伸の計画はないということなのか。	ご指摘の通りではありますが、経営健全化の取組とは趣旨が違う為、P 36からは全体計画縮小の話は削除しました。 一方、計画縮小は事実なので、第5章に以下のように追記しました。 →P 86 このような状況を踏まえ、本市では全体計画区域の見直しを行い、今後は収益性や費用対効果などを検証した上で、原則として企業立地等の効果が見込まれると判断される区域に限り公共下水道の整備を進めます。
7	1	2	—	1.6経営比較分析表を活用した現状分析	副会長	水道も下水も共通するのは老朽化である。他の団体と比べて非常に悪いということを示す必要がある。その部分を真剣に捉えた上で、例えば他市と同じ水準にしていくための必要な投資、料金回収の方法を真剣に検討する必要がある。	水道に関する標記＝P 16、P 26本文を修正しました（これまでの分析及びこれからの課題）。 →P 16『「R 2 経営戦略」については策定後…（以下に分析結果を表記）』 →P 26「投資の実現可能性についても考慮したうえで、老朽化率の上昇を可能な限り抑えた投資・財政計画を作成する必要があります」 下水道に関する記述（→NO.8と同様）
8	1	2	16	1.5これまでの主な経営健全化の取組	委員	今回、全体の改定ですから、5年前と、背景がどう変わったかという話になる。 第2章で書かれるべきことは現状と課題ですから、現状がこうで、そしてこういう課題があります。そのエビデンスはこれです。ということが明確にされることで第5章の投資財政計画に繋がるのではないかと。	改訂の背景をP5に追記しました。 →「…策定から5年が経過し、その間にコロナ禍や物価変動などにより社会経済情勢が大きく変化しました。また、地震や局地的な大雨など自然災害への備えが益々重要性を増しており、これらの変化が上下水道事業経営に多大な影響を…」 水道に関する標記＝P 16、P 26本文を修正しました（→NO. 7 と同様） 下水道に関する標記＝P 36、P 46本文修正しました。 →P 36『「R 2 経営戦略」については策定後…（以下に分析結果を表記）』 →P46「技術者不足による入札の不調など、計画的に施設の更新を進めていくことが困難な状況もあるため、実現可能性について考慮しつつ、老朽化率の上昇を少しでも抑制できるような投資・財政計画を作成する必要があります。」
↓↓ 第2回 ↓↓↓↓							
9	2	—	—	全般	副会長	前回の戦略では、当初の計画値より皆数字が悪くなっている。業績の状況について原因を分析しているのか。その結果によっては、当初の見積もり（目標）が高すぎるかもしれない。分析結果を示す必要がある。 それがないと市は計画通りにやってないと言う事になる。	水道に関する標記＝P 16、P 26本文を修正しました（これまでの分析及びこれからの課題）。 →（→NO7と同様） 下水道に関する標記＝P 36、P 46本文修正しました（これまでの分析及びこれからの課題）。 →（→NO.8と同様）

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

審議 会 回	章	原 案 頁	表題等	発 言 者	意見	原案修正方針
2	3	49	1.3料金収入の予測	委員	R 2 と R 4 で基本料金の免除をしていると思うが、過去 1 0 年の平均を使うと 1 2 0 箇月分の 4 カ月で 3 % くらいが下振れすると思うがそれを使って予測するときに補正はしているのか。	料金収入予測は「供給単価」をベースに補正しているため、P 49 図 3-3 脚注に【予測方法】として追記しました。
2	3	49	1.3料金収入の予測	委員	「経費回収率が低い水準で推移」では、レベルが伝わらない。「1 0 0 % を下回り収支均衡が・・・」とした方がいいのでは。 (下水も同様)	水道＝P 49 の本文を修正しました。 →料金回収率は引き続き 1 0 0 % を下回するため、料金収入で給水に要する費用を賄えない状況が継続する見通しです。 下水道＝P 52 の本文を修正しました。 →経費回収率は引き続き 1 0 0 % を下回するため、使用料収入で汚水処理に要する費用を賄えない状況が継続する見通しです。
2	3	48	1.2水需要の予測	会長	予測では、コロナに関する補正をしているとのことなので、それを入れた方がいいのでは。	水道＝P 48 本文、図 3-2【予測方法】に追記しました。 下水道＝P 51 本文、図 3-5【予測方法】に追記しました。
2	4	55	2.経営の基本的な方向性	副会長	目標の立て方について意見させていただく。 近年の大雨や地震は、想定外の事態が起きており非常に危険である。それを踏まえ市としてやらなければならない投資案と諸般の事情を考慮した中で現実的にできる範囲の投資案を提示してもらい、議論した方がよい。	複数の投資案（市としてやらなければならない投資案＝A 案、現実的にできる範囲＝B 案）と、それぞれに対する収支均衡シミュレーションを行いました。
2	4	55	2.経営の基本的な方向性	委員	「投資に関する方向性」で、基幹施設の必要性の検討が記載されていない。例えば、浄水場が 7 箇所必要なのかどうか（施設の統廃合）という検討をした上で、料金改定の必要性を考えるべきではないか（下水も同様）	5 章 P 72「投資・財政計画（収支計画）」に未反映の取組や今後検討予定の取組」に記載しました。 →「浄水場等の施設・設備については、今後見込まれる水需要の減少を踏まえ、最適な水運用を構築するため、施設・設備の合理化を検討します。これらについても、老朽化に伴う更新時に合わせ、施設の統廃合（ダウンサイジング）や性能の合理化（スペックダウン）を実施していきます。」

川越市上下水道事業経営戦略 審議会意見の反映状況等

審議会回		章	原案頁	表題等	発言者	意見	原案修正方針
15	2	—	—	—	副会長	災害対策のことは是非入れてほしい。現状では何も見えない。別に作っているのであればそれを参照するような表記でよいのでは是非入れてもらいたい。	5章 「投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組」に記載しました。 水道→P 73『「川越市地域防災計画＊」で設定した防災拠点、避難場所、救急医療施設等への給水を維持するための重要施設配水管を優先的に耐震化し、断水被害等の低減を図ります。』 下水→P 86『緊急輸送道路内の埋設管路や防災拠点、避難場所、救急医療施設等について、災害時における被害を低減するため耐震化工事を進めます。また、浸水対策として「川越市雨水管理総合計画＊」で定めた重点対策地区等を中心に、関係機関との連携を図りながら雨水調整池等の雨水施設の整備や、維持管理を行います。』
	↑ ↑ 第 2 回 ↑ ↑ ↑ ↑						